

浜松文芸館だより

No.67

公益財団法人 浜松市文化振興財団

発行 浜松文芸館(文責:鈴木)

令和3年3月

いざない

特別収蔵展【浜松ゆかりの蛇笏賞俳人

だこつしょう



『相生垣瓜人の世界』開催中

3月1日から特別収蔵展【浜松ゆかりの蛇笏賞俳人『相生垣瓜人の世界』】が始まりました。

相生垣瓜人は百合山羽公と共同主宰で俳誌『海坂』を刊行し、自身の句境を深めるとともに、後進の指導にも尽くしました。生涯における膨大な句作を集大成した『明治草』とそれまでの業績により、俳句界最高の「蛇笏賞」の榮譽に輝いています。

瓜人は浜松工業高校に図案科教師として奉職したのが、浜松での活躍の出発でした。そのころからさかんに山登りや旅行をし、健脚ぶりを発揮しています。また、まれに見る読書家であり、これらの幅広い教養が彼の秀句を生む土壌となっています。

瓜人の俳句の真髄は「俳諧の伝統的哲学である禅的達観をほとんど奔放に近い自由さで表現した」ところにあるといわれています。深い思索や洞察から生まれた句が多いなかで時に風刺を交えた作品もあり、俗気のない洒脱な彼の人間性をしのばせる独自の作風となっています。晩年に好んで描いた俳画にも瓜人仙境の感があふれています。

「浜松市民文芸 第66集」へのご投稿ありがとうございました。

今年度は浜松文芸館でも展示や各種講座、講演などを中止したり延期したりしてご迷惑をおかけしました。コロナ禍の中、皆様も創作活動を制限され、大変な一年だったと思いますが「浜松市民文芸 第66集」は応募作品総数9部門2202点、15歳から99歳の幅広い年齢層の方から延べ530名の投稿がありました。昨年度より9部門中5部門で投稿者が増加しました。ありがとうございました。

なお、今年度の表彰式は3月20日(土)アクトシティ浜松で行う予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大予防のため、残念ですが中止とさせていただきます。

「浜松市民文芸 第67集」もよろしく願います。

浜松市民文芸 第66集
3/20から販売! 一冊¥500
*お求めは浜松文芸館事務室まで